

まちづくりの目標 3

活力とにぎわいにみち、魅力ある職場が生み出されるまちづくり

(経済・雇用)

次に、まちづくりの目標 3「活力とにぎわいにみち、魅力ある職場が生み出されるまちづくり」について申し上げます。

まず、**工業の振興**につきましては、激変した社会経済環境に対応できるよう経営基盤の強化を図るとともに、急激に進展する少子高齢化に対応するため熟練技能の継承、若年労働者の人材育成を図ってまいります。

また、企業における研究開発、技術開発への機運醸成と地域産業の高度化と技術・製品の開発を促進するため、創造型研究開発支援事業に取り組むとともに、脱炭素化社会の実現を加速化するため、市内中小企業のエネルギー使用量等の見える化を促進し、省エネ・CO₂排出量削減等に寄与する設備導入を支援します。さらに、AIやIoTなど先進的技術を活用した実証事業を支援する先進的技術実証支援事業を継続するとともに、働き方改革やSDGsに取り組む企業を支援する企業魅力発信事業を引き続き実施してまいります。

また、企業誘致及び立地の促進につきましては、住友企業との連携強化を進めることはもちろん、住友化学大江工場に隣接する新居浜港内港地区の造成を進めるとともに、垣生工業用地内の市有地への新規立地を促進してまいります。さらに、ICT関連企業の誘致に引き続き取り組んでまいります。

次に、**商業の振興**につきましては、中心商店街の活性化のため、産直市場として開設されます「銅夢キッチン」を核とし、周辺の商店街と連携した取組みに対する支援を行ってまいります。また、新居浜商工会議所など各支援機関と連携を図り、創業希望者に対する支援に取り組んでまいります。

次に、**雇用環境の充実**につきましては、働く意欲と郷土への愛着を醸成し、地元への就業促進につなげるため、新たに高校生や女性を対象とした、まち・わが・しごとフェスを開催いたします。さらに、高齢者の更なる社会参画を促進するため、高齢者に働く場を提供するシルバー人材センターへの支援を行ってまいります。

次に、**観光・物産の振興**につきましては、観光施策の情報収集や分析、施策の立案、実行を一体的にマネジメントできる機能をもたせるため、現在、観光協会と物産協会の組織統合を進めております。この組織一元化を踏まえ、運輸観光課を観光物産課に改組し、観光物産協会との連携を強めますとともに、新たにJR新居浜駅に開設いたします観光案内所が効果的に機能するよう支援してまいります。

また、令和元年度に実施した東予東部圏域振興イベント「えひめさんさん物語」のスパイラルアップ活動を進めるため天空の音楽祭などの取組を進めると

ともに、別子銅山の産業遺産群を中核的な観光資源として施策展開していくため、引き続き「銅婚の里ツアー」等を実施してまいります。

また、七福芋を活用した商品開発支援に加え、別子銅山から連想される特産品開発やブランド育成などに取り組むとともに、昨年に引き続き食をテーマとしたイベントを実施してまいります。

また、新居浜太鼓祭りにつきましては、新型コロナウイルス感染症拡大により中止となった昨年の状況を踏まえ、コロナに対応した祭りの開催に向け、太鼓祭り推進委員会を中心として取り組みを進めてまいります。

また、別子山地区の観光振興につきましては、森林公園ゆらぎの森をはじめとした観光資源のさらなる活用を図るとともに、新たな拠点整備について検討してまいります。

次に、**農業の振興**につきましては、農業者の高齢化、担い手不足等の問題を解決するため、農業次世代人材投資事業を実施し営農定着を図るとともに、農業生産基盤の整備といたしまして、池田池等のため池の耐震化を進めます。さらに、地域ブランド確立のため、地域おこし協力隊を活用した大島の七福芋の作付け拡大に取り組んでまいります。

また、拡大する鳥獣被害対策として、農地の防護柵設置に対する補助や市民への煙火の配布を行うとともに、新居浜市鳥獣被害対策協議会を中心に市内の各猟友会等と連携し、有害鳥獣の捕獲に努めてまいります。

次に、**林業の振興**につきましては、森林経営管理制度を推進するとともに、別子山地域内の市有林の有効活用を図るため、「別子山地区森林整備計画」に基づき、作業道の開設を進めてまいります。また、別子木材センターの経営強化についても、積極的に支援してまいります。

次に、**水産業の振興**につきましては、長寿命化計画に基づく漁港施設の老朽化対策を実施し、就労環境の改善を図るとともに、漁業収益の向上、新たな担い手の確保育成に向け支援を行ってまいります。